

杉並ゆかりの文庫

杉並区と友好関係にある福島県南相馬市内の小中学校の図書室では、杉並区ゆかりの本を集めた「杉並文庫」が設けられ、子どもたちから好評を得ています。このコーナーは、大震災後、杉並区民から寄せられた5億8千万円の募金を活用してつくられたものです。

明日3月11日で東日本大震災から、3年を迎えます。東北地方を中心に大きな犠牲と多くの人々に心の傷をもたらしました。杉並区と「災害時相互援助協定」を平成17年5月27日に締結した福島県南相馬市でも、津波により636名の尊い命が奪われました。しかし、全国からの支援や時間の経過とともに、少しずつですが復興は進み子どもたちの笑顔も戻ってきています。

杉並区では、東日本大震災の発生直後から、南相馬市の支援にあたり、広く杉並区民や区内の事業所に協力を求めました。その結果、これまでに5億8千万円あまりの義援金が集まりました。この義援金は、南相馬市に届けられ「南相馬市みらい夢基金」として、青少年育成などに活用されています。その活用の一つとして、昨年11月には南相馬市内の小中学校22校の図書室の一角に「杉並文庫」が設けられました。この文庫には、杉並ゆかりの井伏鱒二や谷川俊太郎、石井桃子、映画監督の宮崎駿が手掛けた作品、さらには防災関連や原子力発電所などの環境をテーマにした調べ学習用の書籍などが並びました。その数は、合計で約5000冊。今後3年をかけて、1校あたり毎年200冊ほどを購入し、杉並文庫を充実していく予定にしています。

その「杉並文庫」のうちの一つである南相馬市鹿島区の鹿島中学校の敷地には、福島第一原子力発電所の事故によって、避難指示が出されている地域の4つの小学校が仮設の校舎に共同で学校生活を送っています。この図書室にも「杉並文庫」が設けられ、真新しい890冊の本が並ぶと図書室の中でも、子どもたちに最も人気の場所となっています。



【報道機関 問い合わせ先】

南相馬市教育委員会教育総務課：電話 0244 - 22 - 2111

総務部広報課：電話 03 - 3312 - 2111